

子育て・少子化対策

【資料 2 ①】

伊賀流自治の視点からみた各主体の役割	
市民(団体)	●子どものいる家庭だけでなく、あらゆる家庭、団体が一体となって子育て支援の取り組みを進めます。 ●子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげるため、子育てのネットワークづくりに努めます。 ●企業(事業者)は、子どものいる家庭が仕事と子育てを両立できるよう、ワーク・ライフ・バランス の推進に努めます。
地域	●「みんなで子どもを見守り・育てる」という意識を高め、子どもの見守り体制を整えます。 ●気軽に相談できるよう、さまざまな体験活動や交流活動等の提供に努めます。
市(市政再生の視点)	●さまざまな機関と連携し、子どもと子どものいる家庭を見守る体制づくりとともに、保護者が気軽に相談できる体制づくりに取り組みます。 ●児童虐待やDV等、命にかかわるケースについては、専門職が、必要な情報を入手し適切な判断をするなかで、迅速に対応するため、専門職を配置します。

子育て・少子化対策 こどもを安心して産み、育てることができる

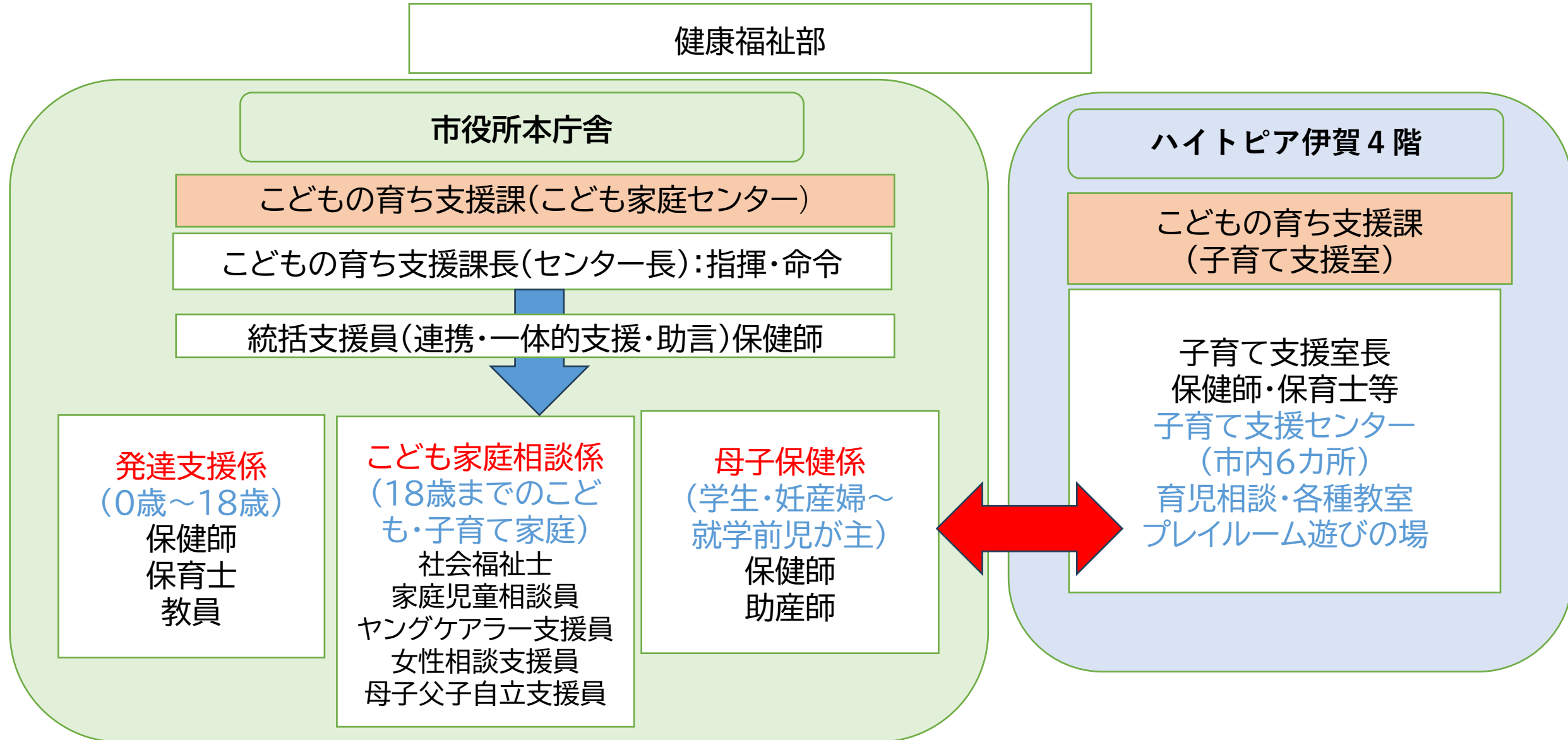
成果を示す指標 (K P I)	指標の説明	現状値			目標値
こんにちは赤ちゃん訪問率	出生件数に対し赤ちゃん訪問を実施した率 (%)	100 (R5)	100 (R6)	99.4 (R7)	100 (R8)
伊賀市で今後も子育てをしていきたいと思う乳幼児の親の割合	1歳6か月児健診で実施する「生活アンケート」から子育てしていきたいを選んだ回答者の割合 (%)	91.1 (R5)	89.0 (R6)	94.4 (R7)	95 (R8)

事業名	事業目的、内容	R6年度実績	R7年度実績
不妊治療費助成事業	不妊治療を受けている法律婚及び事実婚の夫婦に対し、経済的負担軽減の目的で医療費を助成しています。	不妊治療費助成申請 217件 不育治療費助成申請 3件	不妊治療費助成申請 205件 保険適応終了に伴う特定不妊治療と併用して実施された先進医療費助成 59件 保険適応終了後の特定不妊治療費助成 14件 不育治療費助成申請 4件
母子健康手帳の交付	母子健康手帳の使用方法や妊婦健診、乳児健診の受診券についての説明を行います。 また、個別面接により健康相談や栄養相談を実施します。担当保健師による継続的な支援をします。	交付時には、保健師による個別面談を行いました。(交付数 411件)	交付時には、保健師による個別面談を行いました。(交付数 396件)
妊婦のための支援給付	出産・育児への経済的支援を行うため、妊娠期間後(1回目)、こんにちは赤ちゃん訪問後(2回目)に給付金を支給します。		延べ給付件数 835件
妊婦一般健康診査	安心安全な妊娠・出産のために定期的に妊婦健康診査を受診できるよう、14回分の公費負担での健康診査の機会を設けます。	延べ受診者 4,921人	延べ受診者 4,562人
ウェルカムベビー教室	妊婦が夫や家族とともに参加し妊娠出産に関する講話、妊婦ジャケット・沐浴などの体験を実施し、出産や育児についての不安の軽減につなげます。	年間 6 回実施 参加者数 63組(115人)	年間 4 回実施 参加者数 47組(94人)
育児体験教室	妊娠中の不安を解消し、健やかな出産、育児につなげることを目標に、乳児への関わり方について実際の手技を体験し、産後の育児へのイメージをもってもらい妊婦の不安軽減をはかります。	年 6回実施 延 17組(22人)	年 6回実施 延 21組(36人)
妊婦・乳幼児訪問	家庭訪問により、身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導、養育支援などを行います。必要に応じて関係機関と連携をとり継続的に訪問支援を実施します。	養育支援訪問 170件	養育支援訪問 182件
子ども・子育て利用者支援事業	妊婦や子ども及びその保護者等が安心して子育てができるよう、相談や助言等を行い切れ目のない支援を実施します。	妊娠期から子育て期までの支援計画を策定するとともに、情報提供や相談支援を実施した。	妊娠期から子育て期までの支援計画を策定するとともに、情報提供や相談支援を実施した。
新生児聴覚検査	新生児を対象とした聴覚スクリーニング検査を実施し、聴覚に関する異常の早期発見・早期療育につなげます。	受診者数 341人(87.2%)	受診者数 343人(92.7%)
産後ケア	出産後12ヶ月までの産婦及び新生児で、支援者がなく育児不安がある母子に対し、宿泊・通所・訪問などにより育児支援を実施します。	訪問型 15件(延21回) 宿泊型 13件(延38日) 通所型 4件(延8日)	訪問型 5件(延14回) 宿泊型 8件(延11日) 通所型 3件(延3日)
産婦健診	出産後間もない時期の産婦を対象とした健康診査を実施することにより、産後うつ等の予防及び早期発見するとともに必要な支援につなげます。	年間受診者数延 750人(95.9%)	年間受診者数延 686人(92.7%)
1か月児健康診査	乳児の成長や発達の確認、保護者の心配ごとや育児環境などを確認するための健康診査です。(医療機関委託)	受診者数 373人	受診者数 363人
こんにちは赤ちゃん訪問	出生1～2か月児宅を家庭訪問し身体計測、発達チェック、栄養や育児相談・指導、健診・相談・教室等の紹介やその他の制度(予防接種等)の説明を行います。 子育てについての悩みを聞き不安の軽減に努めます	保健師・助産師による訪問を実施。 訪問件数 375件(訪問率 100%)	保健師・助産師による訪問を実施。 訪問件数 336件(訪問率 99.4%)
乳幼児相談	育児への不安の軽減やよりよい育児環境づくりを支援するため子育てについて相談できる場を提供します。	市内3か所で 36回 延参加者数 997人	市内3か所で 36回 延参加者数 817人
離乳食教室	離乳食について、講義・実習を通して知識を身につけてもらいます。	年間 18回実施 延べ参加者101組(託児 87人)	年間 18回実施 延べ参加者105組
乳児一般健康診査	乳児の発達の節目にあたる生後4ヶ月、10ヶ月時に健康診査を実施し、疾病などの早期発見につなげます。(医療機関委託)	4か月健診受診者 394人(受診率 98.0%) 10か月健診受診者 388人(受診率 95.6%)	4か月健診受診者 356人(受診率 97.8%) 10か月健診受診者 380人(受診率 97.7%)
1歳6ヶ月児健康診査	1歳6ヶ月時に健康診査を実施することにより運動機能の遅れや、精神発達の遅れなど障がいをもった児を早期発見し、適切な指導・早期治療につなげます。また、育児相談の場とします。	年間15回実施 受診者数 407人(受診率 97.1%)	年間14回実施 受診者数 390人(受診率 96.8%)
親子ふれあい教室(健診事後フォロー教室)	1歳6か月健診で経過観察になった児とその保護者に対し、児との関わり方や発達に関する知識の普及と、心理士等が相談に応じ育児不安の軽減につなげます。	年間 12回実施 60組 130人	年間 12回実施 27組 73人
2歳児相談	1歳6ヶ月児健康診査時に身体、言語、行動、精神発達面などで経過観察となった児について、2歳6ヶ月時点で发育、発達チェック、心理相談、育児相談や栄養相談を実施します。	年間 12回実施 受診者数 122人(受診率 82.4%)	年間 12回実施 受診者数 121人(受診率 87.1%)
3歳児健康診査	3歳6ヶ月時に健康診査を実施することにより、運動・視聴覚・精神発達の遅延などの障がいをもった児を早期発見し、早期治療・療育につなげます。また、育児相談の場とします。	年間17回実施 受診者数 484人(受診率 97.6%)	年間16回実施 受診者数 464人(受診率 99.4%)

令和8年度 伊賀市 母子保健・子育て支援事業の流れ（途切れない支援）

	妊娠	出産	2ヶ月	4ヶ月	10ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	小学生	中学生	
健診 医療連携	妊婦一般健診	1か月児健診		4ヶ月児健診	10ヶ月児健診	1歳6か月児健診		3歳児健診			就学前健診			
	妊婦歯科健診	新生児聴覚検査												
	新RS予防接種	産婦健診	予防接種											
	市内産婦人科 病院連携(情報共有)					乳幼児健診委員会(市内小児科医)								
	特定妊婦・NICU・要支援産婦 等退院時医療カンファレンス、受診等情報共有								小児科医 ケース検討会					
相談・教室	母子健康手帳交付 母子保健コーディネーターによる面談		子育て包括支援センター・各子育て支援センター(7ヶ所) 月齢・年齢別教室						新					
		新ブックスタート	離乳食教室	こどもの発達相談・巡回訪問						2歳児相談	個別心理相談	5歳児健診 5歳児発達相	保護者面談・発達検査	
	ウェルカムベビー教室 育児体験教室	産後ケア事業							3歳児巡回訪問、個別支援計画立案	就学前伝達				
	家庭訪問・電話相談	こんにちは赤ちゃん訪問	養育支援訪問・電話相談等						新CLM	就学前巡回訪問	個別教育支援計画立案			
	妊娠8か月アンケート	乳幼児相談												
	なんでも相談ダイヤル													
							健診事後フォロー親子教室							
子育て支援	こどもの育ち支援課 母子保健係 こどもの育ち支援課 こども家庭相談係 こどもの育ち支援課 発達支援係 子育て支援室 保育幼稚園課 保険年金課・障がい福祉課 学校教育課 健康推進課		子育て包括支援センター・子育て支援センター・子育て短期支援(ショートステイ)											
			保育所・認定こども園・民間託児所										小学校	中学校
			一時保育・休日保育・障がい児保育										学童保育	
	新		こども誰でも通園											
			ファミリーサポートセンター・病児保育											
関係機関連携	家庭児童相談・母子保健会議					保育園連携(健診事後フォロー・保護者支援)					保幼小連携・引継ぎ			
						子育て世帯包括支援センター会議(母子保健・こども発達支援センター・子育て包括支援センター・保育幼稚園課)					支援検討会議(こども発達・学校教育・児発他)			
						いが児童発達支援センター(保育所等訪問支援、相談支援、学校巡回訪問、保護者面談、発達検査)								
	特定妊婦・家庭児童相談室・要保護児童対策協議会													
各種手当・医療費助成 障がい福祉	特定不妊治療費・ 一般不妊治療費・ 不育症治療費助成		未熟児養育医療											
			児童手当・児童扶養手当、特別児童扶養手当、助産制度											
			福祉(こども・障がい児)医療費・一人親家庭等医療費											
			育成医療・小児慢性特定疾患治療費研究事業・障がい手帳											
			障がい児の障害サービス(児童発達支援、放課後デイ、特定相談等)支給決定 障がい者相談支援センター相談											
			障がい児の医療サービス(訪問看護、訪問リハ等) 障がい者相談支援センター相談											
	妊婦のための支援給付(2回)													

伊賀市こどもの育ち支援課の組織体制



気軽に相談できる
身近な相談機関

- ・子育て支援室
- ・保育所・幼稚園
- ・子育て支援センター
- ・隣保館
- ・社会福祉協議会
- ・民生委員・児童委員

密接な連携



重要連携機関

- ・教育委員会
- ・小・中学校
- ・伊賀児童相談所
- ・伊賀・名張警察署
- ・市関係各課 等

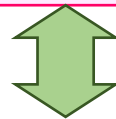
密接な連携



妊産婦



子育て世帯
(保護者)



こども



伊賀市こどもの育ち支援課 (こども家庭センター)

伊賀市要保護児童及び
DV対策地域協議会

電話：22-9609

業務：児童虐待防止、保護者及び妊産婦の相談、子ども発達相談
保健指導・健康診査、サポートプランの作成 等

様々な資源による
支援メニュー



医療機関

病児保育

ショートステイ

ファミサポ

障がい福祉サービス事業所

第三の居場所

その他各種
サービス

放課後児童クラブ

こども食堂